

自動車ガラスの修理を通して、安全運転に貢献したい

有限会社 新潟自動車ガラス柏崎



代表取締役 松田真之介氏
柏崎市下田尻899-5
Tel.24-4121 Fax.24-8168

初夏らしく爽やかな五月の下旬に新潟自動車ガラス柏崎の代表取締役松田真之介さんからお話を伺いました。

会社は、東中学校前の通り沿いにあり、主に自動車のガラス修理を手掛けています。柏崎では、自動車のガラスを専門に直しているのは同社だけです。

松田さんは、山形県新庄市のご出身で、現在四十一歳です。高校までは、地元の山形で過ごしました。子どもの頃から乗り物が好きで、高校卒業後には新潟市にある新潟工業短期大学へ進学して、二年間自動車について学びました。

その後、新潟工科大学の三年生へ編入して、柏崎で二年間の大学生活を送りました。

大学を卒業した後は、山形に本社

があり、広域でガソリンスタンドを運営している会社に就職しました。東京勤務となり、上京することに。その後、様々な社会人経験を積みました。

二〇〇五年、二十五歳の時に、工科大で知り合った奥さんと結婚し、奥さんの父親が経営する新潟自動車ガラス柏崎へ入社しました。

同社は、もともと上越にある新潟自動車ガラスの柏崎支店として一九八三年に始まりました。そして、一九八九年に新潟自動車ガラス柏崎として独立し、現在に至ります。

松田さんが義父から代表を引き継いだのが二〇一五年で、今年で六年目を迎えます。

大雪の時や連休の後などは、フロントガラスの破損が多く、修理依頼が急激に増えて、夜遅くまで修理に追われることもあります。

近年、自動車の技術が急速に進歩しており、ガラスの修理に関しても今後は、国の特定整備認証という認可を取得する必要がでてきました。そのため、この認証に必要な資格の取得や、職場環境の整備などに取り組みたいとのことでした。

松田さんには、三人のお子さんが

います。七歳の長男はスノーボードに夢中で、シーズン中はゲレンデ通いです。上達も早いようで、将来がとても楽しみです。

大雪が降った二〇一八年に、松田さんには柏崎青年会議所の同じ委員会で大変お世話になりました。取材をさせて頂いて、今まで会話の中でお聞きした情報が一つにつながりました。松田さんが周りからの信頼が厚いのは、とにかくしっかりしているから。自動車のガラスで何かお困りごとがあれば、是非、新潟自動車ガラス柏崎さんへご相談ください。

(十人衆(忠)・堀取材)

